

オアシスの森くらぶ

ニュースレター18号 2003. 5. 24発行

発行 オアシスの森くらぶ
編集委員会
発行人 永田 修二
編集人 近藤 眞史
編集長 五十川 幸夫

4月定例活動「総会&小屋周辺クリーンアップ」

村田 英二

4月26日午前中の総会（総会報告は最終ページに掲載。）に引き続き午後から約2時間炭焼き小屋回りの植生管理を行いました。

人数は10人もいなかったですが、小屋回りの各自好きな場所で作業に取りかかりました。

私は小屋とトンボ池を結ぶ道周辺の管理をすることにしました。

道は車が通れる幅がありますが、木々が道に覆い被さり車の通行に多少支障を来しており、見た目にも手入れが不

十分な感じてした。

そこで覆い被さった枝を落とし、道に侵入してきている草を刈り道路脇の木の間に侵入している竹を除伐しました。（私の場合は竹を切るのが主です。）

このあたりの竹は相生山では珍しいマダケです。作業の事前に、真弓さんからは貴重な竹なのであまり切らないようにとの話でしたが、従前からある木を残すか侵入してきた竹を残すかは難しい問題です。相当数の竹を切った

と思います。

久しぶりのノコギリ仕事は楽しく、あっという間に時間が過ぎました。

作業終了後に改めて現場を点検し、随分きれいになりました。植生管理は森くらぶの原点ですが、この作業を実際に行くとその必要性をととても感じます。作業を終えた他のメンバーも満足そうでした。

今年の年間計画には植生管理のメニューが多くあります。次回はもっと多くの人が参加してくれると嬉しく思い

今年も参加しました！ “メ～テレ春まつり”

4月12日（土）、13日（日）の両日、毎年恒例の“メ～テレ春まつり”（昨年までは“ナゴヤテレビ春まつり”）が久屋大通公園にて行われました。

以下の報告は両日の参加者を代表して中島ひろみさんと伊藤晶子さんから寄せていただいたものです。（編）



4月12日（土）小雨時々どしゃ降り。今回のテーマは「竹」ということで、野菜鉄砲、紙鉄砲、竹トンボ、竹の花器、竹のスコップ、鉢物、ハーブ等が並びました。参加人員は9人でした。

一日中雨で雲が立ちこめてテレビ塔も先の方がかすんで見えませんでした。お客さんはさっぱり現れず暇だったので、焼酎の試飲に何回も通いご機嫌となったMさんは、たまに訪れるお客さんの気を引こうと紙鉄砲や野菜鉄砲を撃ちまくったり、なめらかな口調で人を呼び込んでいました。

もちろん竹工作はやりましたよ。
（中島ひろみ）



4月13日（日）一転して快晴。

うららかな日差しに誘われて大勢の家族連れなどがゲートをくぐって入ってきます。子どもたちは桶の中に入れられた竹の水鉄砲をめざとく見つけて遊び始めます。しかし初期のパチンコ台のように、手作りの水鉄砲は微妙に手加減をしないとま

く飛びません。スイッチポンに慣れた子ども達には新鮮な驚きで、ムキになって取り組み、成功したときは満面の笑みです。次に台の上の紙鉄砲に目が移り、今度こそ簡単に出来ると思うのですが、「それは難しいよ。あなたには無理ネ。」と言うと、あきらめる子もいれば、かえって闘志をあおられる子どもも多くいて、親から百円玉をもらってお買い上げとなります。

使い方を教え、しばらくすると「おばさん、うまくなったよ！」と報告子や「また来年も来てね。」

という子もいました。

派手で趣向を凝らしたブースが多々ある中で、子ども達の関心を引きつけたのは“自分の感覚”に頼らなければならない、という素朴さだったと思います。そうした子ども達のために来年も続ける必要あり！と感じました。

